

英国国教会

知っておきたいキリスト教のことば (24)

わたしは中高生の頃、バプテスト系の教会に行っていました。その後長い間教会を離れていたのですが、「もう一度教会に行こう」と決心して門を叩いたのが、日本聖公会の教会でした。

その教会に初めて行く前の土曜日に、下見に行きました。看板を見ると、牧師さんの日本語の名前の前に、「パウロ」というカタカナが書いてありました。きっと宣教師の方の子孫が何かに違いないと想像しました。

ところが日曜日、出迎えてくれたのは、英語名など似あわない(すいません)、どこから見ても日本人の牧師さんでした。わたしはそれまで、「洗礼名」というものの存在を知らなかったのです。(洗礼名についてはまた取り上げたいと思います)。

その時に、わたしは牧師さんに聞いてみました。「この教会はカトリックですか、プロテスタントですか」と。すると、「どっちでもないよ。どちらかという、カトリックに近いかな」と言われました。

わたしたちの教会は、日本聖公会に属しています。聖公会は、16 世紀にローマ・カトリックから独立した英国国教会を母体に、世界の約 80 ヶ国(信徒数約 7000 万人)の地域に広がる教会(Anglican Communion)です。マルティン・ルターなどの宗教改革によって生まれたプロテスタント教会と英国国教会とは、その設立の経緯が多少異なります。英国国教会は、主に政治的な事情により、合法的にローマから離れました。(信仰的な理由もありますが)

聖公会をプロテスタント教会の一つの教派として捉える人も多くいます。しかし、礼拝形式や伝統を重視する点では、極めてカトリックに近いといえます。そのため、聖公会はブリッジチャーチ(橋渡しの教会)として、カトリックとプロテスタント全教会の一致を目指して活動する使命もあるのです。

次回は「エキュメニカル」です。お楽しみに。

